

生物科学学会連合主催 公開シンポジウム

生物多様性が人類にとって必須である理由

～食、医、そして知と創造の源として～

日時

令和2年

12月12日(土)

13:00～17:30

オンライン
開催

事前申込制
参加費無料

プログラム

- 開催の挨拶、趣旨説明
小林 武彦 (生科連・代表)
- 講演1 自然との共存を目指して
中澤 圭一 (環境省)
- 講演2 生態系の中の人類：自然共生社会を考える
山野 博哉 (国立環境研究所)
- 講演3 生物資源の重要性微生物の多様性と天然物の多様性
～多様なペプチド系天然物の話～
尾仲 宏康 (東京大学)

高校生 生きものの”つぶやき”フォトコンテスト
優秀賞作品発表

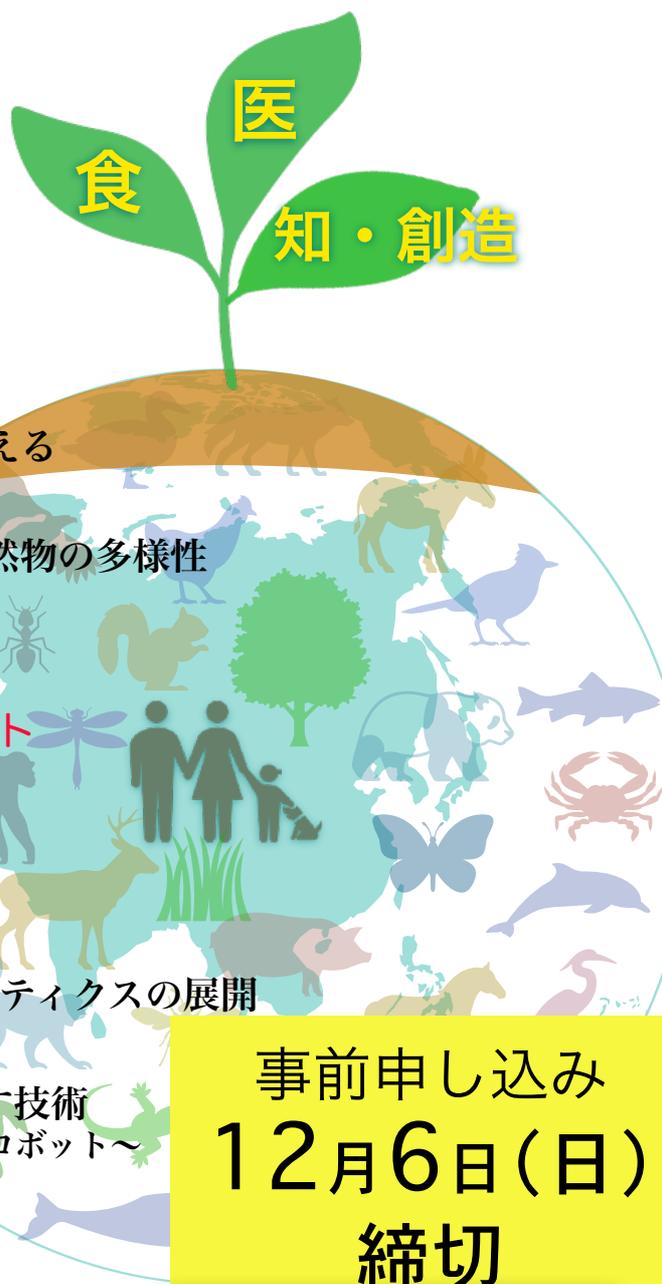
- 講演4 昆虫が支える環境と食
滝 久智 (森林総合研究所)
- 講演5 NanoSuitから蟲瞰学までーバイオミメティクスの展開
針山 孝彦 (浜松医科大学)
- 講演6 生物の知能を再現し、理解して、生かす技術
～昆虫の嗅覚を再現した匂いセンサと匂い探索ロボット～
神崎 亮平 (東京大学)

● パネルディスカッション

「生物多様性のポテンシャルについて」

ー守りではなく攻めるー

モデレーター 宮下 直 (生科連)



事前申し込み
12月6日(日)
締切

生科連

検索

<https://seikaren.org/#1>

主催・企画：生物科学学会連合・生科連地球生物プロジェクト委員会

問い合わせ：<https://seikaren.org/#9>